

CGS等導入事例

瑞穂町地域スマートエネルギー株式会社 さま

HP : <https://r.goope.jp/mizuhomachise/>

【事業所概要】

鉄骨造陸屋根 地上2階建

延床面積 1階 : 377.55㎡、2階 : 152.55㎡

用途 : 発電所

【補助対象設備】

・CGS : 発電出力 9,780kW×1台

排熱ボイラ 4,949kg×1台

・熱電融通インフラ

蒸気配管および電力自営線

■CGS導入に伴う実績

	22年度実績	23年度実績	計画値(参考)	※の値はCGSのカタログから算出した値
対全電力需要	82.0%	79.9%	80.0%※ ¹	全体の電力需要に対するCGS出力割合
発電効率	39.5%	39.3%	43.2%※	エネルギーを電力として取り出した割合
排熱利用率	11.8%	8.9%	26.3%※	温水や蒸気の利用割合 (HHV)
総合効率	51.3%	48.2%	69.5%※	発電効率 + 排熱利用率 (HHV)

※1.1ヶ月の大規模メンテナンス実施時の値、通常は95.9%

■CGS運転状況

平均運転時間 週6日・1日当たり24時間。

■導入経緯

- ①経済性 : 電気代の削減。特定供給による再生可能エネルギー賦課金の削減
- ②BCP : 有事の際、CGSからの電力供給
- ③環境性 : 総合効率が高く、省エネ・省CO2に寄与する電源の確保

■運用状況・今後の課題等

排熱を有効活用できる平日は24時間稼働を実施。排熱が利用できない日曜日は停止。
機器の不具合もあり、1年目2年目はCGSが停止する期間もあったが、メンテナンス・修繕を
確実にを行い、安定稼働をしてさらなる省CO2を行いたい。

■助成要件への対応

- ✓BEMSによるエネルギーマネジメントを実施
- ✓一時滞在施設の設置(帰宅困難者の受入れ)、周知(あればウェブサイトに記載)
- ✓(再生可能エネルギー機器の導入／電気自動車用急速充電器の導入／燃料電池自動車の導入)←どれか

利用助成金 : 東京都「スマートエネルギーエリア形成推進事業」(平成30年度申請、令和4年度工事完了)